

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報					
事務事業コード	0103010505030401	事務事業名	国分舞鶴園老人ホーム運営事業	担当部	保健福祉部
政策名	05 たすけあい支えあうまちづくり	担当課	国分舞鶴園	グループ	管理グループ
施策名	03 地域における福祉の推進	電話番号	46-2205	内線番号	なし
基本事業名	04 高齢者の自立支援サービス	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 48 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
予算科目目	会計	一般会計	根拠法令・条例等	霧島市養護老人ホームの設置及び管理に関する条例等	
	款	03 民生費			
	項	01 社会福祉費			
	目	05 養護老人ホーム費	関連計画	第6期高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 老人福祉法や社会福祉法に規定されている老人福祉施設である国分舞鶴園は、市が設置・運営を行っている養護老人ホームであり、昭和48年、国分重久241番地に開設され、平成11年12月に、所在地の国分重久269番地3へ移転された。入所されている方は、65歳以上の方で、環境上の理由及び経済的理由により、居家で生活が困難な高齢者を行政責任において措置している。入所者に対しては、心身の健康の保持及び生活の安定のため、日常生活では、介護、食事、健康管理、生活相談を行い、また、生きがいを感じながら楽しく生活ができるように、さまざまな行事やイベント、クラブ活動等も実施している。
 定員55名。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 入所者数	人	51	52	53	53	53
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 入所者	入所者数	人	51	52	53	53	53
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 安心して日常生活を送れる	施設の管理運営に関する苦情件数	件	0	0	0	0	0
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 介護・福祉サービスが受けられる	介護サービスや介護を支援するサービス、福祉サービスの利用者数	人	5,654	5,898	5,891	5,900	5,900
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)
 平成18年4月1日に、養護老人ホームの基準が改正され、入所者の介護保険サービスの利用が可能となった。また、入所者の高齢化が進み、身体機能の衰えや認知症の発症などにより特別養護老人ホームやグループホームへ配置換えしなければならぬ入所者が増えた。なお、ご家族からは安心して預けられると喜ばれている。一方、議会から養護老人ホームの入所率の低下、民営化計画に対して質問が出ており、「霧島市保健福祉施設民営化実施計画」のなかでは民営化の提言がなされている。

4. 事業費の推移

事業費	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	14,166	17,181	12,601	14,321	0
一般財源	千円	39,970	45,057	52,064	62,754	0
事業費	千円	54,136	62,238	64,665	77,075	0

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> **(2) 平成26年度の成果** <左記の実績(取組)による成果を記載>

【入所者の生活面での介助】
 洗濯、入浴、看護、食事の提供、栄養管理、生活指導、健康管理、投薬管理、処遇計画、預金管理、各種保険料の納付などの介助を行った。
【介護保険制度の活用】
 介護保険の認定を受けている方で、本人の希望があれば介護サービス事業者と協議し、通所介護サービス等の利用を行った。
【行事等の開催】
 誕生会、正月会、節分、花見、七夕、夏祭り、敬老会、遠足、クリスマス会など季節の行事を行い、園外研修活動も実施した。
【入所者の居室等の改善】
 入所者のADLや入所者同士の関係に配慮しながら部屋替等を行った。

【入所者の生活面での介助】
 入所者が健康で安心して毎日生活できるように、入浴の介助や生活指導、健康管理を行うなど、職員一人ひとりが入所者をサポートし、充実した園生活を送ることができた。
【介護保険制度の活用】
 介護保険の認定を受けている方で、本人の希望があれば介護サービス事業者と協議し、通所介護サービス等を利用してもらいADLの維持や向上、生きがいの持てる園生活を支援できた。
【行事等の開催】
 各種行事を開催し、季節感を大切に。また旬の食材や園内で生産した梅やサツマイモを用い大変喜ばれた。
 また、一日旅行や運動会等の各種行事の開催により生きがいの持てる園生活を支援できた。
【入所者の居室等の改善】
 部屋替等を行うことにより、本人のADLに合った部屋の配置や入所者間の人間関係の修復・改善を行った。

事務事業 コード	0103010505030401	事務 事業名	国分舞鶴園老人ホーム運営事業	担 当 部	保健福祉部
				担 当 課	国分舞鶴園

6. 振り返り <SEE>		理 由
A 目的 妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ ■ 結びついている □ 間接的に結びついている □ 結びついていない	地域社会で支えることができない社会的な援護を必要とする高齢者を受け入れて養護することは、基本事業の意図に結びついている。
	② ・この事業をなせば市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ □ 妥当である ■ 見直す必要がある	老人福祉法のなかで、居宅での養護が困難な場合は市が入所措置をしなければならないと規定されており、必要な施設ではあるが、平成17年度の国の三位一体改革で入所費用が市町村の一般財源により負担する形となったことや、設置・運営については市だけでなく社会福祉法人も可能なことから、必ずしも市で行う必要はない。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ □ 向上する余地はかなりある □ 向上する余地はある程度ある ■ 向上する余地はほとんどない	施設の管理運営に関する苦情はないことから、成果が向上することはないが、入所者の希望をできるだけ叶え、生きがいを持てるように今後も努力していく。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ □ 影響がある ■ 影響がほとんどない	養護老人ホームの設置・運営については、市だけでなく社会福祉法人も行えることから、事業が引き継がれば影響はない。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) □ 類似の事業はない □ 類似の事業はあるが、統合又は連携できない ■ 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 日当山春光園運営事業 横川長安寮運営事業 他の施設と連携できる。
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ ■ 削減できない □ 削減できる	入所者が日常生活を営むために必要な食費・日用品費及び施設を維持するため必要な費用であり、削減することは難しい。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ □ 削減できない ■ 削減できる	民営化により削減の余地がある。
	D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ ■ 公平・公正である □ 見直す必要がある

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < コスト縮小・連携・廃止 >						
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	入所者が園での生活を毎日楽しく快適に過ごし、生きがいを見出せるように、各種のサービスや行事等を工夫するなどして職員一同努力するとともに、一人ひとりにあった介助を行う。 また、「霧島市保健福祉施設民営化実施計画」に基づき、民営化が決定した場合には、移行に支障をきたさないように事業を進めていく。							
(3) 平成28年度の方向性・取組目標	平成28年度は民営化予定。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総 評								

事務事業 コード	0103010505030401	事務 事業名	国分舞鶴園老人ホーム運営事業	担当部	保健福祉部
				担当課	国分舞鶴園

9. コストの推移

(単位:千円)		平成26年度(決算)	平成27年度(当初予算)	平成28年度(計画)
1	報酬	719	719	
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
5	災害補償費			
7	賃金	22,945	31,291	
8	報償費			
9	旅費		14	
10	交際費			
11	需用費	30,054	30,515	
	消耗品費	2,249	2,250	
	燃料費	105	108	
	食糧費	213	295	
	印刷製本費	37	40	
	光熱水費	8,608	9,168	
	修繕料	976	550	
	賄材料費	17,866	18,104	
	飼料費			
	医薬材料費			
12	役員費	657	1,216	
	通信運搬費	293	303	
	広告料			
	手数料	248	848	
	保険料	116	65	
13	委託料	6,458	6,757	
14	使用料及び賃借料	262	244	
15	工事請負費			
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費	84	2,500	
19	負担金補助及び交付金	155	170	
20	扶助費	3,317	3,649	
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利子及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費	14		
28	繰出金			
計		64,665	77,075	
財源内訳	特定財源			
	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他	12,601	14,321	
一般財源	52,064	62,754		
計		64,665	77,075	
補助率	国			
	県			
補助基本額				

項目	金額
当初予算	68,211
補正予算	-3,243
補正第7号	-3,243
流用・充用	1,161
予算合計	66,129

区分	名称	金額
その他	雑入(保育士等給食費徴収金)	36
その他	介護保険特別会計繰入金	
その他	雑入(衆議院議員選挙等不在者投票特別経費)	9
その他	社会福祉費負担金	12,530
その他	雑入(電話使用料)	22
その他	行政財産使用料	4
合計		12,601

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0103010503030402	事務事業名	日当山春光園老人ホーム運営事業	担当部	保健福祉部		
				担当課	日当山春光園		
政策名	05	たすけあい支えあうまちづくり		グループ	管理グループ		
施策名	03	地域における福祉の推進		電話番号	42-0001		
基本事業名	04	高齢者の自立支援サービス		内線番号	なし		
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 49 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)			
	款	03 民生費		根拠法令・条例等	霧島市養護老人ホームの設置及び管理に関する条例、同施行規則		
	項	01 社会福祉費					
	目	05 養護老人ホーム費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	第6期高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

老人福祉法や社会福祉法に規定されている老人福祉施設である日当山春光園は、市が設置・運営を行っている養護老人ホームで、昭和49年に経営主体を県社会福祉事業団より隼人町に移管され隼人町立となる。平成17年の合併により霧島市立となり現在に至っている。入所されている方は、65歳以上の方で、環境上の理由及び経済的理由により、居宅で生活が困難な高齢者を行政責任において措置している。入所者に対しては、心身の健康の保持及び生活の安定のため、日常生活では、介護、食事、健康管理、生活相談を行い、また生きがいを感じながら楽しく生活できるように、さまざまな行事やイベント、クラブ活動等も実施している。
定員50名

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	入所者数	人	29	32	33	40	40
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	入所者	人	29	32	33	40	40
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	安心して日常生活を送れる。	件	0	0	0	0	0
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	介護・福祉サービスが受けられる	人	5,654	5,898	5,891	5,900	5,900
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成18年4月1日に、養護老人ホームの基準が改正され、入所者の介護保険サービスの利用が可能となった。また、入所者の高齢化が進み身体機能の衰えや認知症の発症などにより特別養護老人ホームやグループホームへ配置替えしなければならない入所者が増えた。なお、ご家族からは安心して預けられると喜ばれている。一方、議会からは養護老人ホームの入所率の低下、民営化計画に対して質問が出ており、「霧島市保健福祉施設実施計画」のなかでは民営化の提言がなされている。

4. 事業費の推移

		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	25,619	24,040	24,458	40,503
		一般財源	千円	31,959	36,087	44,912	32,068
		事業費	千円	57,578	60,127	69,370	72,571
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【入所者の生活面での介助】洗濯、入浴、看護、食事の提供、栄養管理、生活指導、健康管理、投薬管理、処遇計画、預金管理、各種保険料の納付などの介助を行った。</p> <p>【介護保険制度の活用】介護保険の認定を受けている方で、本人の希望があれば介護サービス事業者と協議し通所介護サービス等の利用を行った。</p> <p>【行事等の開催】誕生会、新年会、節分、花見、七夕、夏祭り、敬老会、遠足、ハッピー大賞など季節の行事を行い、園外研修活動も実施した。</p> <p>【入所者の居室等の改善】入所者のADLや入所者同士の関係に配慮しながら部屋替え等を行った。</p>	<p>【入所者の生活面での介助】入所者が健康で安心して生活できるように、入浴の介助や生活指導、健康管理を行うなど、職員一人ひとりが入所者をサポートし、充実した園生活を送ることができた。</p> <p>【介護保険制度の活用】本人の希望があれば介護保険サービス事業者と協議し、通所介護サービス等を利用して、ADLの維持や向上、生きがいの持てる園生活を支援できた。</p> <p>【行事等の開催】各種行事を開催し、季節感を大切に。また、旬の食材を使用し季節感のある食事を提供し大変喜ばれた。誕生会や一日旅行等の行事開催により生きがいの持てる園生活を支援できた。</p> <p>【入所者の居室等の改善】本人のADLに合った部屋の配置や入所者間の人間関係の修復、改善を行った。</p>

事務事業コード	0103010505030402	事務事業名	日当山春光園老人ホーム運営事業	担当部	保健福祉部
				担当課	日当山春光園

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	地域社会で支えることができない社会的な援護を必要とする高齢者を受け入れて養護することは、基本事業の意図に結びついている。	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	老人福祉法による措置で、入所可能な施設は必要であるが、平成17年度の国の三位一体改革で、入所費用が市町村の一般財源により負担する形となったことや設置・運営については、市だけでなく社会福祉法人も可能なことから、必ずしも市で行う必要はない。	
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	施設の管理運営に関する苦情はないことから、成果が向上することはないが、入所者の希望をできるだけ叶え、生きがいを持てるように今後も努力していく。	
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input type="checkbox"/> 影響がある <input checked="" type="checkbox"/> 影響がほとんどない	養護老人ホームの設置・運営については、市だけでなく社会福祉法人も行えることから、事業が引き継がれれば影響はない。	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 国分舞鶴園運営事業 横川長安寮運営事業	他の施設と連携できる。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	入所者が、日常生活を営むために必要な食費・日用品費及び施設を維持するために必要な費用であり、削減することは難しい。	
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	民営化や指定管理の方法によれば削減の余地がある。	
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	入所者の負担金は、入所者の収入によって階層により額が決まっており公平である。また、受益の機会についても、入所判定委員会を得て入所されており公平性は保たれている。	

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・コスト縮小・連携・統合 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○			○	○			
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	入所者が、園での生活を毎日楽しく快適に過ごし、生きがいを見出せるように、各種のサービスや行事等を工夫するなどして職員一同努力するとともに一人ひとりにあった介助を行う。また、職員のスキルアップを図るために、研修等へ積極的に参加する。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	入所者が、健康で安心して生活ができるように、各種行事や座談会を通して、入所者と対話する機会を増やす。介護保険の認定者については、本人の希望に沿ったサービスの提供を行えるよう、関係機関と連絡・調整を積極的に行う。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1)事務事業の改革改善方向性									
(2)総評									

事務事業 コード	0103010505030402	事務 事業名	日当山春光園老人ホーム運営事業	担当部	保健福祉部
				担当課	日当山春光園

9. コストの推移

(単位:千円)		平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1	報酬	719	719	719
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
5	災害補償費			
7	賃金	19,748	20,417	20,417
8	報償費	10	10	10
9	旅費	4	14	14
10	交際費			
11	需用費	14,235	9,232	9,232
	消耗品費	1,656	1,648	1,648
	燃料費	1,322	1,565	1,565
	食糧費	212	235	235
	印刷製本費	30	30	30
	光熱水費	5,522	5,444	5,444
	修繕料	5,493	310	310
	賄材料費			
	飼料費			
	医薬材料費			
12	役務費	544	1,032	1,032
	通信運搬費	161	238	238
	広告料			
	手数料	330	766	766
	保険料	53	28	28
13	委託料	30,961	37,338	37,338
14	使用料及び賃借料	379	321	321
15	工事請負費		0	
16	原材料費	0	20	20
17	公有財産購入費			
18	備品購入費	70	500	500
19	負担金補助及び交付金	138	151	151
20	扶助費	2,557	2,817	2,817
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利子及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費	5	0	
28	繰出金			
計		69,370	72,571	72,571
財源内訳	特定財源			
	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	24,458	40,503	40,503
一般財源	44,912	32,068	32,068	
計		69,370	72,571	72,571
補助率	国			
	県			
補助基本額				

平成26年度補正・流用状況

当初予算	74,397
補正予算	-1,720
補正第3号	1,800
補正第7号	-3,520
流用・充用	667
予算合計	73,344

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
その他	社会福祉費負担金	24,443
その他	行政財産使用料	2
その他	雑入(電話使用料)	8
その他	雑入(衆議院議員選挙等不在者投票特別経費)	5
合計		24,458

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0103010503030403	事務事業名	横川長安寮老人ホーム運営事業	担当部	保健福祉部	
政策名	05	たすけあい支えあうまちづくり		担当課	横川長安寮	
施策名	03	地域における福祉の推進		グループ	管理グループ	
基本事業名	04	高齢者の自立支援サービス		電話番号	72-0146	
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 31 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (～)		
	款	03 民生費		根拠法令・条例等 務局市養護老人ホームの設置及び管理に関する条例、同趣旨 指針		
	項	01 社会福祉費				
	目	05 養護老人ホーム費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	第6期高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

老人福祉法や社会福祉法に規定されている老人福祉施設である横川長安寮は、市が設置・運営を行っている養護老人ホームで、昭和31年6月に横川町立養老院(定員30人)として開設され、昭和57年2月に現在地横川町中ノ4752番地3へ移転新築(定員60人)された。入所されている方は、65歳以上の方で、環境上の理由及び経済的理由により、居宅で生活が困難な高齢者を行政責任において措置している。入所者に対しては、心身の健康の保持及び生活の安定のため、日常生活では、介護、食事、健康管理、生活相談を行い、また、生きがいを感じながら楽しく生活ができるように、さまざまな行事やイベント、クラブ活動等も実施している。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 入所者数(施設サービスを提供した人数)	人	33	34	32	40	40
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 横川長安寮の入所者	入所者数	人	33	34	32	40	40
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 快適で明るい生活を送る。	施設の管理運営に対する苦情件数	件	0	0	0	0	0
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 介護・福祉サービスが受けられる	介護サービスや介護を支援するサービス、福祉サービスの利用者数	人	5,654	5,898	5,891	5,900	5,900
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成18年4月1日に、養護老人ホームの設備及び運営に関する基準が改正され、入所者の介護保険利用が可能となる。また、入所者の高齢化が進み、身体機能の衰えや認知症の発症などにより特別老人ホームなどへ配置転換しなければならぬ入所者が増えた。入所者及びその家族の方々から、入所者が安心して生活できると喜ばれている。定員に対する充足率が低下していることに対して、議会から質問が出てきており、平成24年度3月には「霧島市保健福祉施設民営化実施計画」のなかで、民営化の提言がなされている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	23,879	21,985	26,643	24,934
		一般財源	千円	38,395	40,105	38,795	44,953
		事業費	千円	62,274	62,090	65,438	69,887
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【入所者の生活面での介助】洗濯、入浴、看護、食事の提供、栄養管理、生活指導、健康管理、投薬管理、処遇計画、預金管理、各種保険料の納付などの介助を行った。</p> <p>【介護保険制度の活用】介護保険の認定を受けている方で、本人の希望があれば介護サービス事業者と協議し、通所介護サービス等の利用を行った。</p> <p>【行事等の開催】誕生会、花見、慰安旅行、七夕、夏祭り、敬老会、ソーマン流し、グランドゴルフ大会など季節の行事を行い、園外研修活動も実施した。</p> <p>【入所者の居室等の改善】入所者のADLや入所者同士の関係に配慮しながら部屋替等を行った。</p>	<p>【入所者の生活面での介助】入所者が健康で安心して毎日生活できるように、入浴の介助や生活指導、健康管理を行うなど、職員一人ひとりが入所者をサポートし、充実した園生活を送ることができた。</p> <p>【介護保険制度の活用】介護保険の認定を受けている方で、本人の希望があれば介護サービス事業者と協議し、通所介護サービス等を利用してもらいADLの維持や向上、生きがいの持てる園生活を支援できた。</p> <p>【行事等の開催】各種行事を開催し、季節感を大切に。また、一日旅行やグランドゴルフ等の各種行事の開催により生きがいの持てる園生活を支援できた。</p> <p>【入所者の居室等の改善】部屋替等を行うことにより、本人のADLに合った部屋の配置や入所者間の人間関係の修復・改善を行った。</p>

事務事業コード	0103010505030403	事務事業名	横川長安寮老人ホーム運営事業	担当部	保健福祉部
				担当課	横川長安寮

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	地域社会で支えることができない社会的な援助を必要とする高齢者を受け入れて養護することは、基本事業の意図に結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	老人福祉法のなかで、居宅での養護が困難な場合は市が入所措置をしなければならないと規定されており、必要な施設ではあるが、平成17年度の国の三位一体改革で入所費用が市町村の一般財源により負担する形となったことや、設置・運営については市だけでなく社会福祉法人も可能なことから、必ずしも市で行う必要はない。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	施設の管理運営に関する苦情はないことから、成果が向上することはないが、入所者の希望をできるだけ叶え、生きがいを持てるように今後も努力していく。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input type="checkbox"/> 影響がある <input checked="" type="checkbox"/> 影響がほとんどない	養護老人ホームの設置・運営については、市だけでなく社会福祉法人も行えることから、事業が引き継がれれば影響はない。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 国分舞鶴園運営事業 日当山春光園運営事業 他の施設と連携できる。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	入所者が、日常生活を営むために必要な食費・日用品費及び施設を維持するために必要な費用であり、削減することは難しい。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	民営化により削減の余地がある。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	入所者の収入によって、負担金は39の階層区分の基準があり、該当する階層で負担額が決まっており公平である。また、受益の機会についても入所判定会を得て入所されており、公平性は保たれている。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・コスト縮小・連携・統合 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
				○	○			○
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	入所者が園での生活を毎日楽しく快適に過ごし、生きがいを見出せるように、各種のサービスや行事等を工夫するなどして職員一同努力するとともに、一人ひとりにあった介助を行う。 また、「霧島市保健福祉施設民営化実施計画」に基づき、民営化が決定した場合には、移行に支障をきたさないように事業を進めていく。							
(3)平成28年度の方角性・取組目標	新たな入所者の受け入れを行いながら、各種行事やレクリエーションなどを通じて、入所者との対話の機会を増やす。 また、介護保険の認定者については、本人の希望を聞きながらサービスの提供を受けられないか、関係機関と連絡調整を積極的に行う。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

事務事業 コード	0103010505030403	事務 事業名	横川長安寮老人ホーム運営事業	担当部	保健福祉部
				担当課	横川長安寮

9. コストの推移

(単位:千円)		平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1	報酬	719	719	719
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
5	災害補償費			
7	賃金	30,232	32,820	32,820
8	報償費	10	10	10
9	旅費	16	21	21
10	交際費			
11	需用費	21,202	23,335	23,335
	消耗品費	1,967	1,679	1,679
	燃料費	456	428	428
	食糧費	327	225	225
	印刷製本費			
	光熱水費	6,718	6,710	6,710
	修繕料	1,110	600	600
	賄材料費	10,624	13,693	13,693
	飼料費			
	医薬材料費			
12	役務費	759	1,102	1,102
	通信運搬費	336	373	373
	広告料			
	手数料	313	673	673
	保険料	110	56	56
13	委託料	8,841	9,029	9,029
14	使用料及び賃借料	213	200	200
15	工事請負費			8,000
16	原材料費	0	10	10
17	公有財産購入費			
18	備品購入費	1,367	800	800
19	負担金補助及び交付金	159	165	165
20	扶助費	1,855	1,676	1,676
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利息及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費	65	0	
28	繰出金			
	計	65,438	69,887	77,887
財源内訳	特定財源			
	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	26,643	24,934	24,934
一般財源	38,795	44,953	52,953	
	計	65,438	69,887	77,887
補助率	国			
	県			
補助基本額				

平成26年度補正・流用状況

	当初予算	73,105
補正予算	-3,191	
補正第7号	-3,191	
流用・充用	-1,828	
予算合計	68,086	

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
その他	社会福祉費負担金	26,642
その他	電話使用料	1
合計		26,643